



つちおと

気仙沼・南三陸地区 ほ場整備工事安全祈願祭

- 東日本大震災の津波により土砂の堆積や地盤沈下など甚大な被害を受けた気仙沼市、南三陸町において、復興交付金（農山漁村地域復興基盤整備事業）による、ほ場整備工事（気仙沼地区は最知など3工区、南三陸地区は田表、西戸川など5工区）が本格工事に入りました。

これを受けて、4月17日、南三陸地区の板橋工区にて、施工業者7社で組織する協議会により、同工事の安全祈願祭が開催されました。

気仙沼地区では45.8ha、南三陸地区では128.0haのほ場整備や農業集落道の整備が進められます。

本事業により、農地の区画拡大、狭い農道の整備、農業機械の大型化や経営体への集約化など、農業の復興が進んで行くことを期待しています。

本祈願祭は、気仙沼市大江副市長の御発声で締められました。



小野寺防衛大臣代理他2名による鍬入之儀の様子



玉串奉奠する松館新気仙沼支所長

◆季節は桜の花が咲き春を迎えています。朝夕はまだまだ寒く、体調管理に気をつける日が続いています。これから田んぼでは、例年どおりしろかきの時期になってきます。被災を受けた個所では、復旧・復興へ向けた工事がフル稼働で進んでいますが、形が見えるまでもう一息のところまで来ています。

BRTも4月17日には気仙沼駅に乗り入れが開始されます。定時性が確保された公共交通機関がまた1つ出来ることで、暮らしを支える環境が整いつつあります。

◆当気仙沼支所も計画作成や交付金事業について、出来る限りのお手伝いを行っております。また復興庁としても各被災自治体へ人材を派遣し復興の後押しに努めているところです。

ややもすると流されてしまいそうですが、原点（総合調整のワンストップ）を振り返りながら、道半ばの復興を前へ前へと進めることが、復旧・復興への近道であると信じ、復興庁は、関係機関と連携しながら出来る限りの支援を続けて参ります。わたくし事で恐縮ですが、4月の人事異動で前任の山口の後を引き継ぎます松館と申します。前任者と同様に頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

(松)

鹿折まちづくり協議会の活動について

鹿折まちづくり協議会

鹿折は被害がとて大きかった地区で、まちなかには今誰も住んでいません。土地
区画整理に時間を要していることもあり、果たしてどれだけの住民が戻ってくるの
か不安な点も。将来、戻ってきたいと思えるようなまちづくりのビジョンの取りま
とめと実現に向けて、鹿折まちづくり協議会は活動しています。

まちづくりサロンの開催 ～仮設住宅の皆さんと意見交換～

4月20日、鹿折まちづくり協議会主催の「まちづくりサロン」が鹿折中仮設
住宅集会所で開催されました。仮設住宅の住民が多数集まったほか、市議会
議員2名や、まちづくり支援センター、社会福祉協議会、公民館などの地元
の関係者や、神戸まちづくり研究所、工学院大学、宮城大学、近畿大学のアド
バイザー、鹿折まちづくり協議会の役員らが参加し、総勢43名での開催と
なりました。

サロンでは冒頭、ランドデザインの提言書の内容について説明があり、そ
の後まちづくりに関する意見交換会が行われました。「早く仮設を出たい」と
いう早期再建を望む声、また、「地区の詳細なかさ上げ高について知りたい」
「道路の通行がどうなるのかが気になり」など、復興事業についての具体的
な情報が欲しいという声が多くありました。

そして、鹿折の将来の姿を見据えた意見もたくさん出されました。

- 今後鹿折の目玉となるような施設、例えばサッカー場などが欲しい
- お年寄りや若い人たちも住みやすい、環境に配慮したまちづくりを
- アレルギーの子どもにも食べられるレストランが地域にあるといい
- 安波山に被災者追悼のための観音様を設置しよう
- 買い物がしやすいように、地区にスーパーができることがとても大事

上記のような意見が住民の皆さんから出され、活気ある意見交換会となりま
した。出席した市議さん達からは、復興事業の進捗状況についての簡単な説
明とともに、いくつかの意見に関しては既に市に働きかけている旨の説明が
ありました。また、アドバイザーたちからは、住宅・商業施設・公共施設な
ど色々な機能を一体的に考えることが大事だということ、また、行政だけに
頼らず、みんなの力で実現するのがまちづくりだという話がありました。



ランドデザイン

これまで、鹿折まちづくり協議会では、どのようなまちにしたいかの議論を、地
域住民や学生たちを交えて行ってきました。そして今年3月に、鹿折のランド
デザイン策定に向けた提言書としてとりまとめ、市に提出しています。

今後について・・・

今後、鹿折まちづくり協議会には、

- さらに多くの住民の参加を促し、意見を集約する
- 情報を収集し、住民に提供する
- 市役所やURと連携を強める
- ランドデザインの実現に向けた調整を行う
・・・などの役割を強化していくことが求められています。住民参加型でのまち
づくりに向け、気仙沼支所としても引き続き支援してまいります。

～ 気仙沼市防災集団移転促進事業造成工事（登米沢地区）竣工式 ～

気仙沼市では、東日本大震災の津波により被災した住宅再建のため、防災集団移転促進事業に取り組んでおり、高台などの安全な場所に38地区、約970区画を整備する計画とされています。このうち、登米沢地区において6区画の造成工事が竣工となりました。

同事業の造成完了第1号となりました当地区では、3月28日（金）、造成工事が完了したことを祝い、現地にて竣工式が挙行されました。式にはこの団地に移転されるみなさんはじめ、事業主体である気仙沼市のほか関係機関など約60名が参列し、竣工を祝いました。移転者を代表してご挨拶された登米沢地区防災集団移転協議会三浦会長も自宅が建てられるようになると、喜んでおられました。

土地の引渡については、4月中旬頃から順次、進められることとされ、お盆は新居で迎える方も出てくることでしょう。

住まいの復興がまた1歩前進です。



登米沢地区の様子



テープカットの様子

～ 舞根森里海研究所竣工式 ～

NPO法人 森は海の恋人 は、日本財団及び京都大学フィールド科学教育センターとの震災復興協働プロジェクトとして、舞根森里海研究所の建設を進めていましたが、このたび竣工を迎え、4月26日、現地にて、竣工式が開催されました。式には、関係者約60人が出席し、関係者代表のご挨拶や看板の除幕など、完成を祝いました。

森は海の恋人 は、子供向け、大人向けの環境教育や植樹祭、里山整備などを行っている法人です。今後、当研究所は、研究活動（カキやアサリの人工種苗技術開発、貝毒対策検討）や環境教育の場として活用されます。理事長は、特に子供教育を通じた、将来の研究者の誕生に期待を寄せているようでした。

研究所は、鉄骨造り2階建てで、延べ床面積約498平米。1階に養殖実験所や多目的スペース、2階に大型冷蔵庫や顕微鏡を備える実験室が入っています。2階には応接図書室もあり、供えられた森里海に関する資料の中には絵本もあり、子供教育にも役立ちそうです。

本研究所が活用され、水産業や教育の一層充実していくことはもちろんですが、これらに伴い気仙沼周辺の交流人口の増加の面からも復興が前進していくことを期待しています。



研究所の看板と外観



2階の実験室の様子

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【4月27日-5月6日】モアイミニ博覧会 2014 南三陸 ～世界初イースター島のモアイ像と共に～ (一社) 南三陸町観光協会

モアイミニ博覧会は、昨年、イースター島より贈呈された、世界初本物のモアイ像の魅力を多くの方に知ってもらうために行われます。会期中はモアイ像にまつわる民芸品の展示、参加型プログラム等ご家族で楽しめるイベントを多数ご用意しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。◇開催時間 午前9時30分～午後4時 ◇場所 南三陸ポータルセンター[さんさん商店街となり]

◇入場料 一般：500円(税込) 小学生以下：無料

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://www.m-kankou.jp/moai-mini-expo>

【5月18日】歌津伊里前しろうおまつり (伊里前福幸商店街)

今が旬のしろうお、そして雄大な景色と朱に染まる花つつじを楽しむことができます。当日はしろうおの踊り食い、しろうおすくいなど実施し、ステージイベントや町内のお店も多数出店します。

◇開催場所 伊里前福幸商店街特設会場 (宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前96-1) ◇開催時間 10:00～15:00 ◇入場料 無料

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://minamisanriku-mall.com/reported/index.cgi>

ナンプレにチャレンジ!!

			9	7				
	7	2	5		6	1	9	
	1		3		8		5	
2		8				7		6
	9			8			1	
4		1				9		2
	6		8		4		2	
	4	9	1		2	8	6	
			6		9			

ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス(縦3マス、横3マス)にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆桜もそうですが、歩道を歩く人が増えてきたことから春の訪れを感じている今日この頃です。春は出会いの季節。また新しい人たちに気仙沼・南三陸を知ってもらえるチャンスです。

(前号のナンプレの回答)

9	7	8	2	5	4	1	3	6
1	5	2	7	3	6	4	9	8
6	4	3	1	8	9	5	2	7
3	8	1	4	7	5	2	6	9
7	6	4	3	9	2	8	5	1
5	2	9	6	1	8	7	4	3
2	3	5	8	6	7	9	1	4
4	1	7	9	2	3	6	8	5
8	9	6	5	4	1	3	7	2

気仙沼の桜!



これまで発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元 (お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
 電話 0226-23-5301
 FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>